

# 危険箇所総点検実施



## 延べ1,518人の市職員を動員し点検。危険な箇所では修繕や工事を実施。

### 31箇所 修繕・工事完了



円滑な水の流れを確保するため、水路内の植物や土砂を撤去。破損などのあるマンホールの蓋を交換



### 83箇所 修繕・工事予定



傾斜地では、のり面にゆがみや亀裂が入ったり、表面が剥がれたブロックが抜け落ちたりする箇所などを確認。今後補修などを実施予定

### 49箇所 国・県へ改善を要望



堆積していた土砂などが撤去され、水の流れがスムーズになった榛名白川（上記左）。立木などの障害物がある箇所は改善を要望

## ゲリラ豪雨や台風などの大雨に備えて排水体制を強化 災害対策車を配備しました

市は、ゲリラ豪雨や台風などの大雨に備え、排水ポンプ機能を持つ災害対策車を2台配備しました。災害対策車は、25mプールの水を約10分で空にする排水能力を持ちます。専門業者に操作を委託し、災害時は必要に応じて出動します。

昨年10月の台風19号で、市内では浸水被害が発生。市は、こうした水害に対応するため、既存の1台を含め3台配備することで、排水体制を強化しました。



**市**は、大雨による水害や土砂災害、地震災害への備えとして、平成26年から毎年、市内の危険箇所を総点検しています。今年の総点検は、河川や水路、農業用水路などの氾濫による浸水被害の防止をテーマに実施しました。5月21日～7月22日に、市の職員延べ1,518人を動員し、市内の151河川や水路をはじめ、土砂災害の危険箇所など約5,300箇所を点検。中小河川上流部の土砂の堆積状況や、橋周りで水の流れの妨げとなるような土砂や立木などがないかを確認しました。ま

た、昨年10月の台風19号で浸水被害が多かった地区を中心に、地元区長への聞き取り調査も併せて実施。道路の側溝や排水路などを重点的に点検しました。点検の結果、土砂や流木などの障害物がある河川や水路、護岸や水門の補修など、163箇所に対応が必要なことが判明。市が管理している箇所のうち、31箇所は既に対策を行い、残りの箇所も今後順次速やかに対策を実施します。国や県などが管理している箇所については、改修工事や障害物の撤去など改善の要望を行っていきます。

市は、台風や集中豪雨などによる災害に備えるため、今年も危険箇所総点検を行いました。今回号では、点検の結果などについてお知らせします。問い合わせは、防災安全課（☎321・1352）へ。